

「真の学習意欲」とは何か

小川 陽平

○学習意欲と動機づけ

学習意欲を動機づけの分類と関連させて考えました。

<動機づけのタイプ>

動機づけ	無動機づけ	外発的動機付け				内発的動機付け
自己調整 (段階)	なし	外的調整	取り入れ による調 整	同一化に よる調整	統合によ る調整	内発的調整
学習場面 における 理由の例	「やりたい と思わな い」	「お母さ んに言わ れるから 仕方なく」 「やらな いと叱ら れるから」	「テスト で悪い点 を取って みんなに バカにさ れるのが 嫌だから」	「将来海 外に行き たいから、 英語を勉 強する」	「学ぶこ とが自分 の価値観 と一致し ているか ら」	「面白いから」 「楽しいから」 「興味があるか ら」 「好きだから」

動機づけを学習場面において考えたときに、外発的動機づけのものは一時的な意欲であると考えます。目標を達成することや、外的・内的な報酬や罰が解決することができれば、そこから先に進んで意欲的に学習していくことは難しいと思います。そのような動機づけから学習していくのではなく、興味・関心、楽しさをもって学習することができれば、子どもが意欲的な学習をしていけるのではないかと考えます。

これらのことから真の学習意欲とは内発的動機づけから学習することであると考えます。

○今後の研究に向けて

内発的動機づけについて詳しく調べ、子どもたちの内発的動機づけをかきたてる方法を提示します。それを生かして真の学習意欲を作り出す授業展開や授業技術、学習形態、課題の設定など、様々な観点から授業づくりのあり方に迫りたいと考えます。